
4月の雨

総戯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

4月の雨

【著者名】

NZマーク

N9022B

【作者名】

総戯

【あらすじ】

オレは目的地もなく好きな人について考えながら、歩いていた。
そうしていたら歩道橋に彼女がいて…。

彼女と僕

学校の近くを歩いていると、ぽつぽつと雨が降りはじめた。今は4月12日。

傘をわすれたおれは、なにもささずに歩き続けた。すれ違う人は傘をさしていないおれを、じろじろ見ていた。

別に目的地があるわけではないが、今日は外を考え事をして歩いていたかつた。考え事とは、好きな人についてだ。

オレの好きな人は、オレの親友と付き合っていた。そんな親友をオレは黙つて見ているしかなかつた。だが、『今日別れる』とオレの親友である、内人が言った。理由を聞きたかつたが、聞けなかつた。

それは、喜んでいいのか、彼女（佐藤 美緒）の立場になつて、悲しんだ方がいいのか分からなかつた。これからオレはどうする？告白した方がいいのか、いいのか、

今まで通り黙つて見ている方がいいのかさえ、分からなかつた。

それからも、歩き続けていると、歩道橋で美緒が暗い顔で立つていた。

さて、みなさんだったらどうしただろうか？彼女に話しかけるか、

それとも見ぬ

ふりをして立ち去つただろうか？オレは惱みながらも、彼女に話し掛けた。

オレが歩道橋の階段を上ると美緒がオレに気がついた。

「佐藤～。どうした？そんな暗い顔して。」

オレはなにも知らないふりをして話し掛けた。

「彦（あだ名。ちなみにオレの名前は佐藤 隆彦。）あのね、内人の親友なら知ってると思うけど、私達付き合つてたの。それがね、昼過ぎに別れよつて言われたの…。」

今までそんな感じは、なかつたの。昨日だつて…。「ゴメン話しがずれたね。それでね、意味が分からぬまま、『それじや。』つて切られたの。一分くらい経つてやつと

意味が分かつたの。それがが、悲しくて、うううう、えーん。」

いきなり泣かれてオレは困つた。なにも出来ずに、ただ側にいてやるしかなかつた。

それから…

それからおれはいや、僕（心中では、僕とオレの両方を使っている）

は彼女と互いに相談しあう関係になった。彼女の方はもう吹っ切れでなんにも無かつたように内人と話してる。

僕はいつもと同じく黙つて見ているだけだが、時折、美緒が話し掛けて

くれる。それは僕にとっての小さな幸せだつた。

そんなある日、僕はいつもより早めに学校に向かうと前の方に美緒がいた。

僕は駆け足で彼女に駆け寄つた。

「おはよう、美…じやなくて佐藤。」

あぶな。心中では美緒と呼んでるから思わず下の名前で、呼んじやい

そうになつた。

「ふふ、おはよう。今下の名前で呼びやうになつたでしょ？心のなかで

は美緒つて呼んでたりして？」

うつ、心を見透かれている。なんとかして話を変えなくちゃと思つた。

「ちつ違つよ。まつ本当はそう呼びた…じゃなくて。」

何言つてんだよ、オレどつしよつ。ものすごく恥ずかしい。

「別にいこよ。美緒で、ヒロ（彦）なり。」

「えっ、マジで……」

僕はものすごく驚くと同時にものすごく嬉しかった。

「マジだよ。それよりこつもよつ早いね。どうしたの？まさか、ウチに会いたかったとか？」

「うん……ちがう、なに考えてんだよ。」

「うんやうだよと、言こやつになつた。そんな事は言ふるぜずもなこの」。

「冗談だよ、冗談。そうだ今日を聞いて欲しい事が……。」

僕らは他愛もない話をしながら学校に向かつた。
幸せだ、もっと話してみたいなと思つた。

この時は僕はこの幸せがずっと続くと思つていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9022b/>

4月の雨

2010年10月17日07時58分発行